

## 第1学年 生活科指導案

1 単元名 なつと なかよし ～おおきく なあれ～

2 単元について

(1) 学習指導要領から

本単元は、生活科の内容(7)とかわりのあるものである。その中の、

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

という内容と深く関わっている。

ここでは、植物の成長の様子を見守ったり、関わり合ったりする中で、植物への親しみをもち、生命の尊さを実感しながら、継続的な栽培を行っていくことが主な活動である。植物の特徴、育つ場所、世話の仕方、変化や成長の様子に気付きながら、それらと自分との関わりに気付いたり、自分自身の世話の仕方や世話してきた心の変容などに気付いたりすることも目指している。

アサガオを継続的に栽培しながら、自分の気付いたことを友達に紹介することで、成長過程で共通することや違うところに気付かせたい。自分のアサガオだけでなく、他のアサガオの成長の様子を知ることによって、新たな気付きにつながっていく。

また、他の身近な植物の栽培や観察も行うことで、同じ特徴や性質、変化があることに気付くことも目指している。(ヒマワリ、オシロイバナ、マリーゴールド、フウセンカズラ、ダイズなど)

(2) 単元の目標

植物の栽培を通して、人に聞いたり、調べたりしながら世話を続けることで、植物の成長の変化に気付き、継続的に世話を続けようとするができる。

(3) 単元の評価規準

○植物に関心をもってすすんでかかわろうとしている。(生活への関心・意欲・態度)

○調べたり考えたりしたことをもとにして、自分なりに工夫しながら育てている。

(活動や体験についての思考・表現)

○植物の成長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の成長に気付いている。

(身近な環境や自分についての気付き)

3 部会研究課題とのかかわり

研究課題(1) 具体的な体験や活動を通して、低学年らしい思考や認識を育成し次の活動へとつなげる学習活動を重視する。

○植物を栽培する喜びや楽しさを味わうために

「はじめましての会」で、二年生が大切に育ててきたアサガオの「栽培ファイル」を見せてもらい、種のプレゼントを手にしたときに、「アサガオの種」と初めて出会う。中に入っている種に興味や期待を抱きながら家に持ち帰ったときの喜びを大切にしたいと考える。

配られた種を観察する時に、慎重に扱ったり、愛着をもって関わったりする気持ちを育てるために、

自分のアサガオの種に名前を付け、友達の種類とは違うことを意識し、親しみと期待の目で見つめ、心を寄せながら世話をしていくようになるを考える。種まきの時には、植木鉢から土がこぼれないように入れながら、「土のおいがするね。」「初めて触ったよ。」と五感を使って活動に取り組んでいく。アサガオにとって、植木鉢はお家、土はお布団、水は飲み水、肥料はご飯、と言い換えることで、自分の生活を参考にするきっかけになり、よりよい成長を願って活動に取り組むことができる。日々の成長に喜びや楽しさを味わうことで、継続栽培への意欲付けになるだろう。

#### ○身近な植物への興味を広げる単元構成の工夫

アサガオの成長を、種→芽→双葉→本葉と育っていく過程がよくわかるように観察していく。どのように成長し変化していくのか、どのくらい成長しているのかを、日々丁寧に見て、気付いたことを記録していく。アサガオの成長過程を知ったうえで、身近な植物の種を数種類用意し、どのような葉が出て、どんな花を咲かせるのかを考えさせる。これまでの植物との関わりを振り返ることも大切にしながら、継続して育てているアサガオと、似ている部分を探したり、予測して成長を考えたりしていくことで、様々な植物の知識を増やし、育てる喜びを味わうきっかけにしたい。

#### ○学校生活の様々な場面における栽培活動の位置付け

継続的に世話をし、繰り返し関わる過程で、生命あるものを大切にすることを育む価値ある体験にしていきたい。登校後や休み時間に、自分の大切なアサガオにすぐ会えるように、ベランダに植木鉢を置くようにし、毎朝水やりをしながら成長を観察したり、変化を見つけたりすることで、生活科の活動を日々の学校生活に取り入れていきたいと考える。

研究課題（3）自分自身や自分の生活について考え、新たな気付きを生み出す「身近な生活に関わる見方・考え方」を育む生活科を实践する。

#### ○対象との関わりから感じる自分の成長や気持ちの変化への気付き

毎日水やりをしながらアサガオを観察し、成長や変化がないか見る。以前までは、自分の朝の支度で精一杯だった時間に、大切なアサガオのお世話していることに気付いたり、アサガオを思って工夫して育てることができたりしていることに気付き、自分自身の成長を実感することで、継続して世話をする楽しさや喜びを味わい、思いや願いを膨らませていく。

#### ○植物の成長や変化を実感できるカードの活用

水やりをしながら、自分のアサガオの成長や変化で気付いたことを、「朝の健康観察」として毎日記録しまとめていく。健康観察には五つの観点を設け、意味のある観察になるようにする。

- |         |   |
|---------|---|
| 【五つの観点】 | ① なまえをよぶ … 自分のつけた名前を呼ぶことで、愛着がわき、大切に育てる心を育む。 |
|         | ② みずやり … 毎日忘れずに行い、水やりができた自分を認め、成長を実感する。     |
|         | ③ ようすをみる … 日々の成長や変化、アサガオの健康状態を見る。           |
|         | ④ ぼく わたし … その日の自分の気持ちを絵と言葉で表現する。            |
|         | ⑤ アサガオ … その日のアサガオの気持ちを想像して絵と言葉で表現する。        |

※ ④と⑤では、自分とアサガオの関わりを重視し、双方の気持ちを自分なりに考えていきたい。絵で表現することに慣れるまで、様々な表情が描かれたものを教室に掲示し、気持ちに一番近いものが描けるようにする。

日々のカードはリングに通して教室に掲示し、いつでも誰でも成長の経過を見ることができるようにする。友達の気付きやアサガオの成長の違いを確かめることで、もう一度自分のアサガオを見直すきっかけになるようにしたい。

#### ○気付きの質を高める声掛けや支援の工夫

植物の観察を通して感じたり気付いたりしたことを、うまく表出できない子供や、気付きを自覚していない子供には、気付きを引き出す言葉かけやそれを認める言葉かけをする。また、ひとりひとりの気付きは必要に応じて友達に広めたりする。

### 4 児童の実態から

#### (1) この単元を通して育てたい子供の姿と子供の思い・願い

##### この単元を通して育てたい子供の姿


- 植物の成長を楽しみにしながら、世話を続ける子供
- 植物に対する親しみをもち、生命の尊さを実感しながら世話する子供
- 植物の成長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の成長に気付く子供

#### (2) 教師の願いと配慮事項

##### 教師の願い

	生活科への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
教師の願い	① 植物に関心をもち、日々の成長を楽しみにしながら世話をし続けてほしい。	② 調べたり考えたりしたことをもとにして、自分なりに工夫しながら育ててほしい。	③ 植物の成長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の成長に気付いてほしい。



配慮事項	① 自分のアサガオの種に名前を付け、愛着をもって関わっていけるようにする。ベランダに植木鉢を置くことで、毎朝水やりをしながら成長や変化の様子を観察できるようにする。 	② 植物にとって、植木鉢はお家、土はお布団、水は飲み水、肥料はご飯、と言い換えることで、自分自身の生活と関連付けて考えられるようにする。カードの活用により、成長過程をすぐを知ることができ、友達と情報交換できる場を設けるようにする。教室には、アサガオに関する本を置き、ヒントとなるようにする。	③ 毎朝水やりをしたり、「朝の観察観察」をかいりしながら、愛着をもって育てることができている自分自身の成長に気付けるようにする。植物の生命の尊さを実感しながら、責任をもって継続栽培を行うようにする。
------	---	---	---

### (3) 配慮事項に関する実態

#### ○配慮事項①に関して

##### ・植物に対する興味・関心

学校や通学路にある植物に対して、見たり観察したりすることが好きな児童が学級の六割、育てることが好きな児童が学級の半数いることが、実態調査によってわかった。多くの児童が、花や野菜に関心があり、観察したり栽培したりすることに前向きな考え方であった。校庭探検では、積極的にいろいろな種類の花や葉を探したり、花壇や畑に植わっている野菜を知りたがったりと、身近なところにある植物をよく見ようとする姿がうかがえた。

#### ○配慮事項②に関して

##### ・植物を育てた経験

幼稚園や保育所での栽培経験がある児童が学級の六割で、入学前から植物を栽培することに関わってきた児童が多いことがうかがえる。また、家での栽培経験が学級の半数で、教育の場以外でも植物を育てた経験があることがわかった。花では、アサガオ・チューリップ・ヒマワリなど、野菜では、サツマイモ・トマト・ニンジンなど、様々な植物を栽培したことがある児童が多い。栽培を通して、花を見る楽しさや面白さ、不思議さを味わい、野菜ができたときの喜びや食べた時の満足感を体験していることがわかった。

#### ○配慮事項③に関して

##### ・自分や友達のよさへの気付き

係活動や班活動を通して、色々な友達と関わる時間が増えた。幼児期から仲が良かった友達以外にも、新しくできた友達と休み時間に遊んだり、学習の間の時間にお話したりと、積極的に人と関わろうとする児童の姿がよく見られる。給食の時間に、苦手な食べ物を全部食べられた子には学級全体で賞賛の拍手を送ったり、運動会練習では友達同士で励まし合って取り組んだり、友達の努力を認めることができる児童がいることがわかった。

## 5 活動の流れ（9時間扱い＋常時活動）

小単元	おおきく	なあれ	（12時間＋常時活動）
-----	------	-----	-------------

### 小単元の評価規準

◎植物に関心をもってかかわろうとしている。（関心・意欲・態度）

◎調べたり考えたりしたことをもとにして、自分なりに工夫しながら育てている。（思考・表現）

◎植物の成長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の成長に気付いている。（気付き）

#### ○植物を育てたり観察したりした経験を振り返る（1）

- ・幼児期や家での経験を思い出す。
- ・その時の様子を振り返り、これからの学習への見通しをもつ。

#### ○アサガオの種の観察（1）

- ・自分のアサガオに名前を付ける。
- ・観察カードに大きさや特徴を描く。

#### 【留意点】

- ・種まきは、教室でまき方を説明した後外に出て種をまく。
- ・種まきが終わったら手洗いをする。
- ・ペットボトルじょうろの使い方を確認し、正しく水やりを行えるようにする。
- ・水をあげる量を考えるとき、土の表面の渴きや湿り具合を、見たり触ったりして確認できるようにする。

○種まき（２）

- ・土の入れ方、種のまき方、水やりの方法を知る。
- ・アサガオのことを思いながら丁寧にまく。

○アサガオの水やり、観察（常時活動）

- ・毎朝、自分のアサガオに水やりをする。
- ・成長や変化がないか、よく見て観察をする。
- ・観察したことをカードにかきためていく。



○種を観察し何の植物かを考える（１）

- ・五種類の植物の種を提示し、何の植物の種か考える。
- ・成長過程の写真を見たり、虫眼鏡で観察したりする。

○五種類の植物の水やり、観察（常時活動）

- ・五種類の中から一つ選び、アサガオと並行して水やりをする。
- ・成長の様子を比較しながら観察する。

○アサガオの間引き、お届け（２）

- ・アサガオが大きく育つように間引きをする。
- ・紙コップに入れ、家に持ち帰ったり、近隣の幼稚園に届けたりする。

○育てた葉・茎・ツル・花・実を使った遊びをする（２）

- ・押し花、たたき染め、色水遊び、リース作りなど

○自分のアサガオ発表会（１）

- ・種からどのように成長したか発表する。



○種をとり観察する（２）

- ・栽培し続けてきた植物の種をとり、観察する。
- ・来年の一年生へのプレゼントを作る。


- ・毎日の水やりは一人ひとりになるので、安全な水やりができる場を確保する。
- ・水をあげすぎないように気を付ける。
- ・ハチなどの昆虫が飛んでいるときは、近付かないようにする。
- ・気温の高い日の観察は、帽子をかぶるようにする。
- ・カードには、細かな気付きもかけるようヒントとなる声掛けをしていく。
- ・カードは常時教室内に掲示しておく。
- ・観察するときは、虫眼鏡を一人一つ用意し、常に使える環境にする。
- ・間引きの時には、土をはらって紙コップに移動させ、強く触ったり無理に引っ張ったりしないようにする。
- ・幼児にアサガオを渡すときは、今まで育ててきた思いや、どのように育ててほしいかを言えるようにする。
- ・花や葉の色が服に付き、汚れてしまう恐れがあるので、着替え等の準備の連絡を事前に入れる。
- ・とってきた実や種、色水を口に入れないようにする。
- ・たたき染めで、ハンマーを使うとき、使い方・運び方に気を付けさせる。
- ・アサガオ発表会では、種からどのように成長していったのか、よくわかるようにまとめ、発表する。
- ・来年度の一年生にプレゼントする種を、数を決めて取っておくようにする。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

○自分のアサガオを観察し、成長の変化を見つけることができる。

(2) 展開（5 / 1 2）

学習活動と内容	教師の支援（○）と評価（☆）
<p>1 今までのアサガオの栽培を振り返る。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;">             種は黒くて小さかったね。         </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: 10px;">             土から曲がりながら出てきたよ。         </div> </div>	<p>○今まで育ててきたアサガオの成長を振り返るように、成長の記録の掲示物や、今までかいてきたカードを見ながら過程を追っていくようにする。</p>

○「あさのけんこうかんさつ」の様子を聞き、今のアサガオの状態や、自分の気持ちを振り返るようにする。

2 本時のめあてを確認する。

○本時のめあてを確認し、活動内容を理解する。

じぶんのあさがおの じまんしたいところを みつけよう。

- ・前に観察したときのことをカードで振り返りながら、成長の変化を見つける。
- ・見つけたことは「みてみてカード」に書かためていく。

植木鉢からはみ出すくらい大きいよ。



本葉がふさふさしているね。くすぐったいよ。

葉の中に線がたくさんあるよ。



水をたくさん飲んだから、とても元気だよ。

3 自分のアサガオの自慢を紹介する。

- ・班の中で順番に紹介する。

本葉がわたしの手と同じくらい大きくなったよ。



本葉にもいろんな形があっておもしろい。

ツルがわたしの背くらい長くなったよ。

4 友達の自慢を聞きながら自分のアサガオと比べる。

- ・クラス全体に、自慢したいことを紹介する。
- ・友達の紹介を聞きながら、共通点や差異点を見直す。

わたしのアサガオも同じようにふさふさしているよ。



ツルのところあるとげみたいなのはなんだろう。

わたしのアサガオより、ツルがぐるぐる巻いていてすごいな。

5 本時の学習を振り返る。

○観察カードを見直しながらアサガオの変化を見つけるようにする。

○虫眼鏡を配布し、アサガオをじっくり観察できるようにする。

☆植物の成長の様子に気付くことができる。

(気付き)

○「みてみてカード」を見ながら、友達に自慢を紹介していくようにする。

○紹介したところよく見えるように、席を立てて友達のアサガオを見ても良いことを伝える。

○虫眼鏡を使って近くで見たり、触ったりしても良いが、アサガオを傷つけないように気を付けさせる。

○視聴覚機器（ぼうけん君）でアサガオを撮り、テレビに映し出しながら全体で気付きを共有する。

○テレビに映し出されたアサガオと、自分のアサガオを比較し、同じところや似ているところを見つける。

○今までのアサガオの成長を振り返ったり、ここまで大きく育ててこられた自分の成長に気付いたりする。

○これからも大切に育てていく気持ちを育てる。